

LFR-110

FULL RANGE FLAT RESPONSE CABINET



ユーザーマニュアル



コンテンツ

導入	2
特徴	2
コントロール	3
LFR-110の接続	7
入力の接続	7
Bluetoothオーディオ接続	7
TWS Bluetoothオーディオ接続	8
DI OUTの接続	9
2台のLFR-110を有線接続する	9
仕様	10
ブロック図	11
寸法（mm）	12
安全のための警告	13

導入

現代のデジタル ギター リグにより、ギター プレイヤーは、ほんの数年前には夢見ることしかできなかった、実に素晴らしいサウンドのアンプ、キャビネット、エフェクトの組み合わせを驚くほど豊富に利用できるようになりました。

自宅での作曲からレコーディング スタジオ、ステージでのライブ演奏まで、デジタル ギター リグをどこにでも持ち運ぶことができます。

しかし、そのためには、ヘッドフォン以上のものを提供してくれるキャビネットが必要です。つまり、周囲の空気を動かし、部屋にアンプがあるかのような感覚を与えてくれるキャビネットが必要なのです。

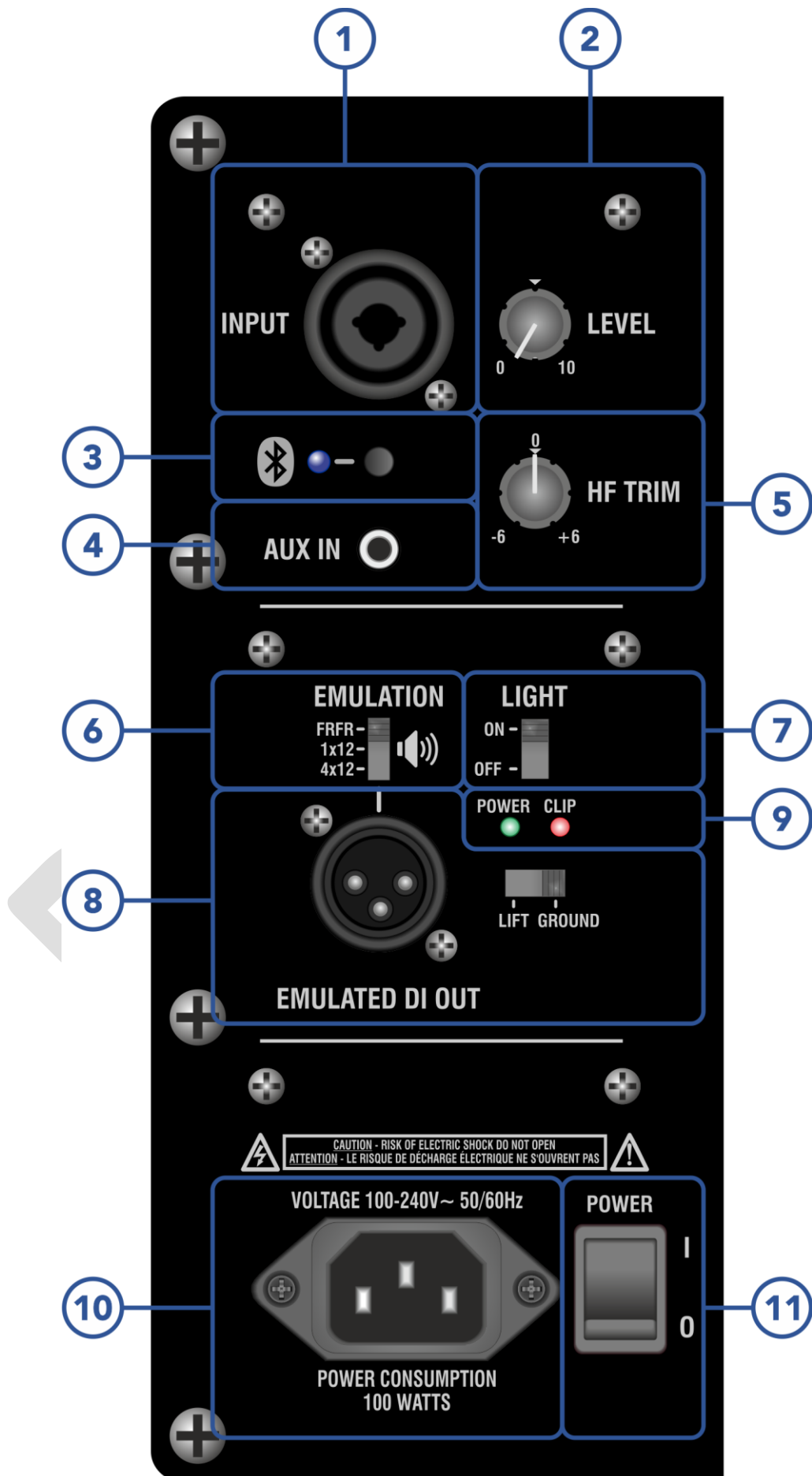
LFR-110 は、大量の空気を動かし、デジタル ギター セットアップのさまざまなトーンを実現するように設計されており、自宅のリビング ルーム、スタジオ、ステージ上のライブなど、どこにでも設置できるように設計されています。

LFR-110はコンパクトなサイズながら、その秘めたる力、それは力強いサウンドです。LFR-110 は、ギタープレイヤーのために設計された、パワフルでフラットなレスポンスのフルレンジ・パワードキャビネットです。HH Blue製10インチウーファーと1インチLaVoce製コンプレッションドライバーを搭載したLFR-110は、不要な色付けのない、緻密で正確なフルレンジレスポンスを実現します。LFRキャビネットの最大の利点は、静音時でも大音量時でも遜色ないサウンドを奏でられることです。そのため、リハーサルや自宅での演奏など、常に思い通りの音量を出せない時に最適です。

LFR-110 は Bluetooth® 経由でオーディオを LFR-110 にストリーミングできるため、自宅からステージまで、あらゆる場所でデジタル ソリューションと連携できるトータル ソリューションです。

特徴

- 250ワット高出力クラスDパワーアンプ
- フルレンジフラットレスポンスパワードキャビネット
- ブルートゥース®
- 選択可能なキャビネット エミュレーション、FRFR、1x12、4x12
- レベルコントロール
- HFトリム
- バランスXLR/JACKコンビ入力
- 切り替え可能なキャビネット照明
- 3.5mmステレオ補助入力

コントロール

1. 入力ソケット

LFR-110は、「INPUT」と表示されたメス型XLRコンビジャック入力を備えています。このソケットは、バランス型XLRまたはバランス型TRSまたはアンバランス型TSの6.3mmジャックに対応しています。特に長いケーブルを使用する場合は、ACハムや干渉を低減するため、可能な限りバランス接続をご使用ください。これはラインレベル入力です。

2. レベルコントロール

LFR-110キャビネット全体の音量レベルをコントロールします。LEVELコントロールを時計回りに回すと音量が上がります。

右に回すとゲインが上がり、左に回すとゲインが下がります。LEVELコントロールを調整する際は、赤いCLIP LEDが点灯していることを確認してください。最良の信号対雑音比を得るには、赤いCLIP LEDが常時ではなく、時々点滅する程度に入力レベルを設定してください。CLIP LEDが点灯し続ける場合は過負荷状態を示しているため、避けてください。コントロールが最大するとき、入力感度は約-20dBu、コントロールが中央のとき、入力感度は約-10dBuです。0dBuや+4dBuなどの高いラインレベルの場合、コントロールは通常、中間より低くする必要があります。中間は、ほとんどの機器にとって良い出発点です。

3. ブルートゥース

Bluetoothボタンを押して有効にすると、デバイスを検索している間、LEDがゆっくり点滅します。ペアリングするには、デバイスで**Laney LFR**を探し、ペアリング手順に従ってください。この接続はA2DPオーディオストリーミングをサポートしています。ステレオBluetoothの左右の信号は内部で加算され、LFR出力にルーティングされます。Bluetooth信号は、LEVEL、HF TRIM、EMULATIONコントロールの影響を受けません。Bluetooth信号のレベルは、外部デバイス側で調整する必要があります。

オンボードのBluetooth入力は、LFR-110キャビネット2台をリンクすることでTWS（トゥルーワイヤレスステレオ）モードでも動作します。これにより、左チャンネルの信号はプライマリLFR-110に送られ、右チャンネルはセカンダリーキャビネットに送られます。このモードでは真のステレオ動作が実現され、キャビネット間の間隔を広くできるため、圧倒的なステレオフィールドが得られます。TWS [TWS](#) Bluetoothオーディオ接続 [TWS](#)操作。

一度ペアリングすると、デバイスはLFR-110のメモリに自動的に保存され、Bluetoothがオンになってデバイスが範囲内にある場合、今後は自動的に再接続されます。Bluetoothペアリング情報は、LFRから消去できます。消去するには、Bluetoothをオンにし、Bluetoothボタンを10秒間押し続けます。LEDが2回素早く点滅し、ペアリングリストが消去されます。以前にTWSペアリングを設定している場合は、両方のデバイスでこの操作を行う必要があります。

4. 補助入力

演奏にバックトラックを追加するための3.5mmオーディオ入力ソケットです。LEVEL、HF TRIM、EMULATIONコントロールはAUX信号には影響しません。公称感度は-10dBuです。

5. HFトリムコントロール

キャビネットの高域特性を環境に合わせて調整できます。HFシェルビングフィルターにより、パッチパラメータを変更することなく、信号の高域を素早く簡単に調整できます。コントロールは ± 6 dBで、センターはフラットです。

6. エミュレーション

エミュレーションはDIとスピーカー出力の両方に適用され、3つのモードが用意されています。

- **FRFR** - フルレンジでフラットなレスポンス出力を実現。完全にフラットで色付けのない出力です。既にIRを装備されている場合に最適です。
- **1x12** - コンパクトなクローズドバックキャビネットと連動して、中音域のパンチが集中した素晴らしい全体的なトーンを実現します。
- **4x12** - 低音域のパンチが増し、ステージ上での全体的な音の投影が向上します。

エミュレーション モードは、DI-OUT とスピーカー出力の両方に表示されます。

7. フロントLEDストリップスイッチ

Laney LFR-110 キャビネットの前面パネルにある LED ダウンライト ストリップのオン/オフを切り替えます。

8. エミュレートされたDI出力

バランスXLRラインレベル出力。グラウンドリフトスイッチを搭載し、複数台接続時に発生するグラウンドループによるノイズを低減・除去します。DI出力はポストEQ、ポスト入力レベルなので、ステージ上のサウンドをそのまま反映します。

9. 電源とクリップLED

LFR-110が接続され、電源がオンになると、POWER LEDが緑色に点灯します。CLIP LED（LEVELコントロールと連動）は、クリッピングが発生すると赤色に点灯します。

10.主電源ソケット

付属の主電源ケーブルを電源に接続するための標準C14 IEC入力。LFR-110はユニバーサル電圧に対応しており、100Vから240V（50/60Hz）までのあらゆる標準電源で動作可能です。改造やヒューズの交換は不要です。このソケットは標準IEC C13ケーブル（付属）に対応しています。

11.電源スイッチ

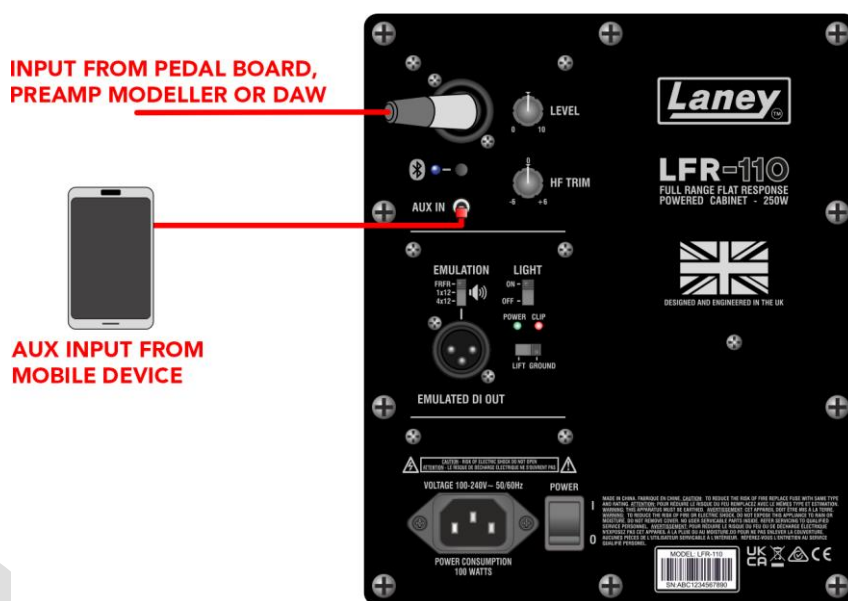
適切な電源コードが接続されると、LFR-110の電源のオン/オフが切り替わります。予期せぬトラブルを避けるため、電源のオン/オフを切り替える際は、LEVELコントロールを最小にしておくことをお勧めします。

DRAFT

LFR-110の接続

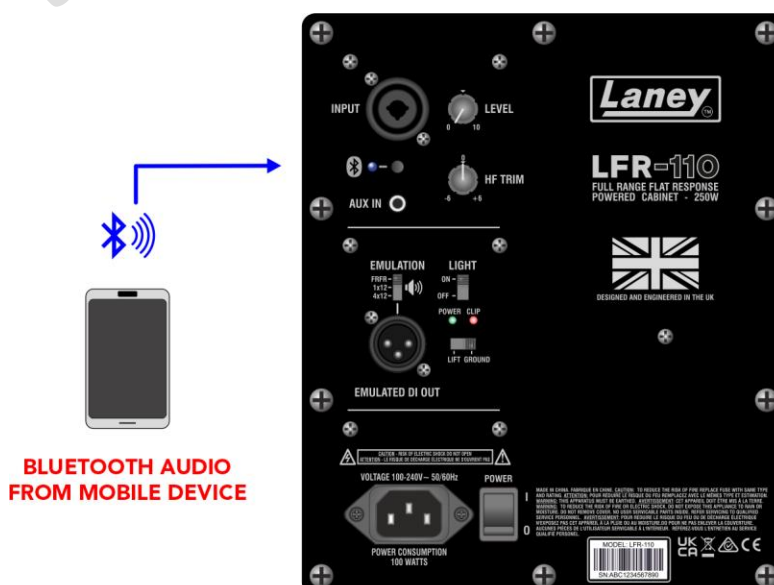
入力の接続

Laney LFR-110には、有線入力ソケットが2つあります。バランスギター信号入力用のXLR/6.3mmコンボジャックと、携帯電話などのメディアプレーヤーからバックイングトラックを接続できる3.5mm補助入力です。コンボ入力は通常、モデラーに接続するためのもので、ギターを直接接続するには適していません。



Bluetoothオーディオ接続

Bluetoothボタンを押して有効にすると、LEDがゆっくり点滅します。デバイスでLaney LFRを確認してください。接続されるとLEDが点灯します。Bluetooth®セクションをご覧ください。



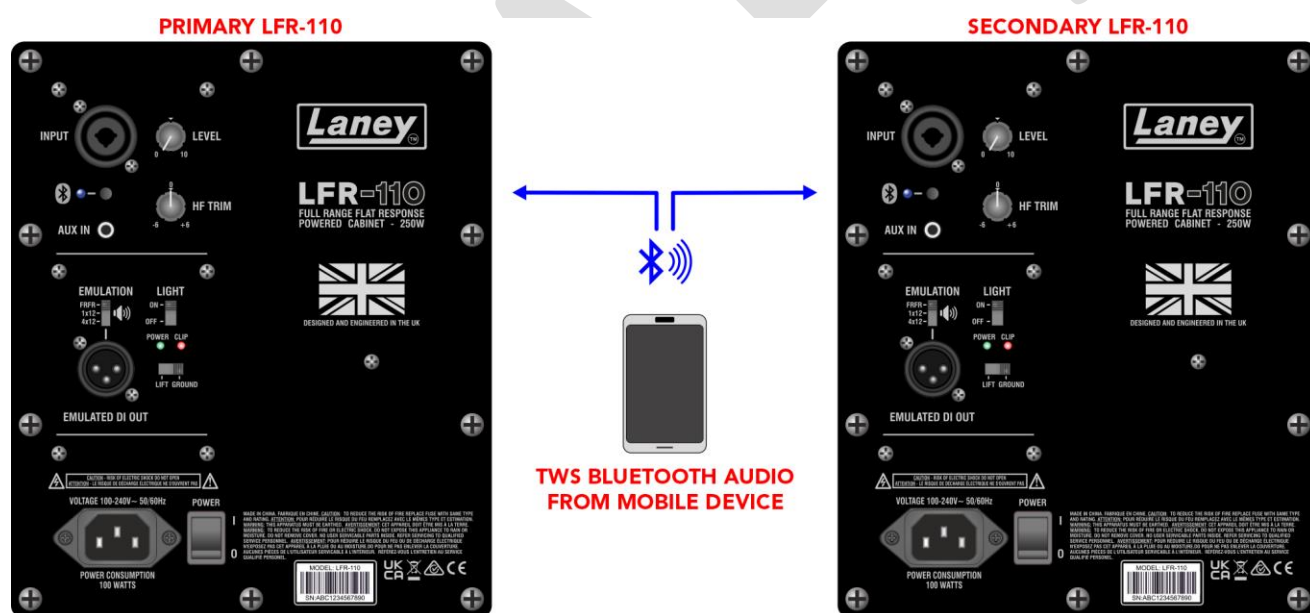
TWS Bluetoothオーディオ接続

2台のLFRをTWS経由でペアリングすることで、真のステレオBluetoothオーディオを実現できます。キャビネット間ではBluetooth信号のみがワイヤレスで送信されます。

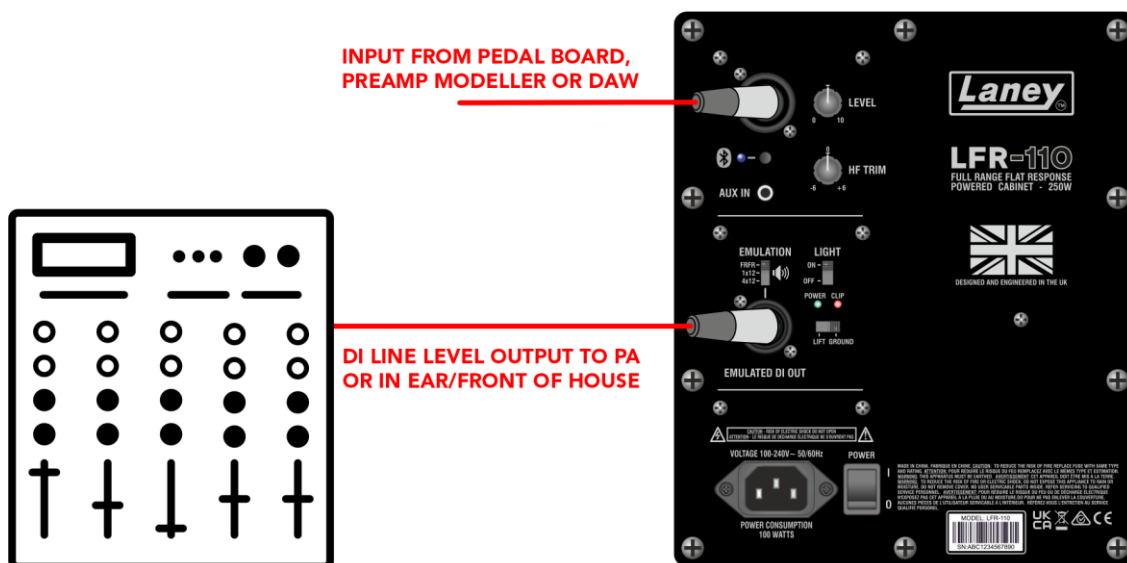
LFRプライマリ：上記の「Bluetoothオーディオ接続」の説明に従って、プライマリLFR-110をBluetoothデバイスとペアリングして接続します。接続してアクティブになったら、Bluetoothボタンを3～4秒間長押しします。Bluetooth LEDが高速点滅します。

セカンダリ LFR: プライマリ ユニットが TWS ペアリング モードになっている間に、セカンダリ ユニットの Bluetooth を 1 回押して有効にし、セカンダリ ユニットのボタンを 3 ～ 4 秒間押し続けて、このユニットでも TWS ペアリングを有効にします。

両ユニットが通信し、ペアリングされます。プライマリLFRは右チャンネルに、セカンダリLFRは左チャンネルに設定されます。このペアリングは保存され、将来使用できるようになります。接続が確立されると、LEDが点灯に変わります。



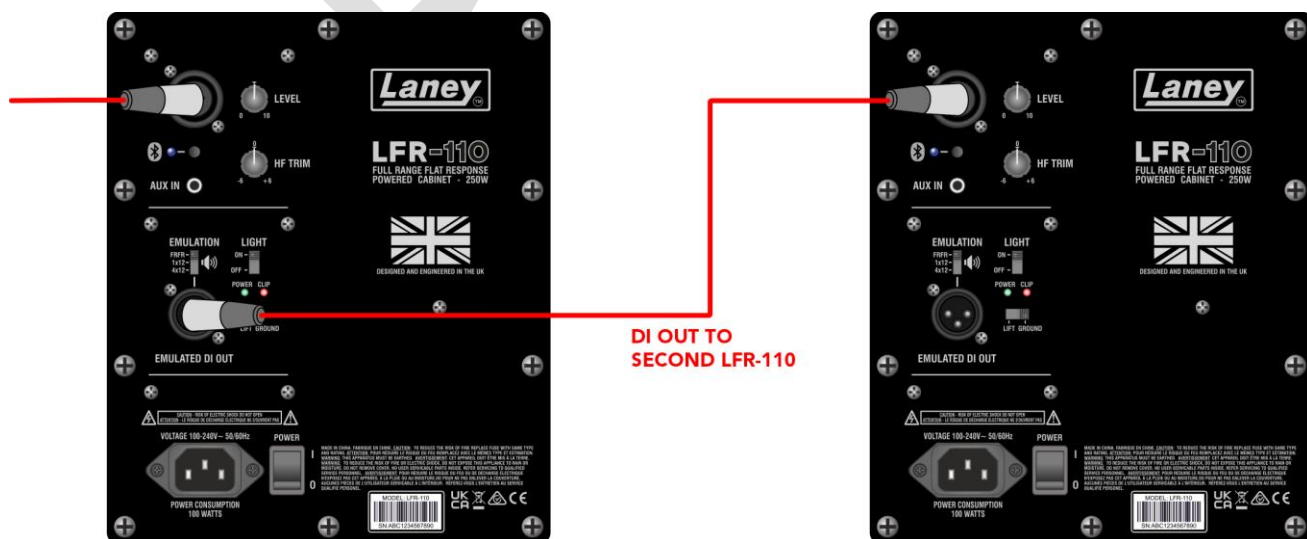
DI OUTの接続



XLR DI出力は、PA、FOH、またはインイヤーモニターに接続するためのバランスラインレベル出力を提供します。DI出力はスピーカー出力をトラッキングし、VOLUME、TRIM、EMULATIONコントロールによって調整できます。

2台のLFR-110を有線接続する

LFR-110は2台接続できます。セカンダリー・キャビネットのXLR入力をプライマリー・キャビネットのDI出力に接続することで接続できます。プライマリー・キャビネットのEMULATION設定が1x12または4x12の場合、セカンダリー・キャビネットではFRFR設定を使用することで、重複を避けることができます。DI出力はEQ/レベル/Bluetoothセンドのポストとなるため、Bluetooth TWSモード使用時はこの方法は使用しないでください。代わりに、AB-YケーブルまたはリグからのL/Rセンドを使用して、入力を両方のキャビネットに個別に接続してください。

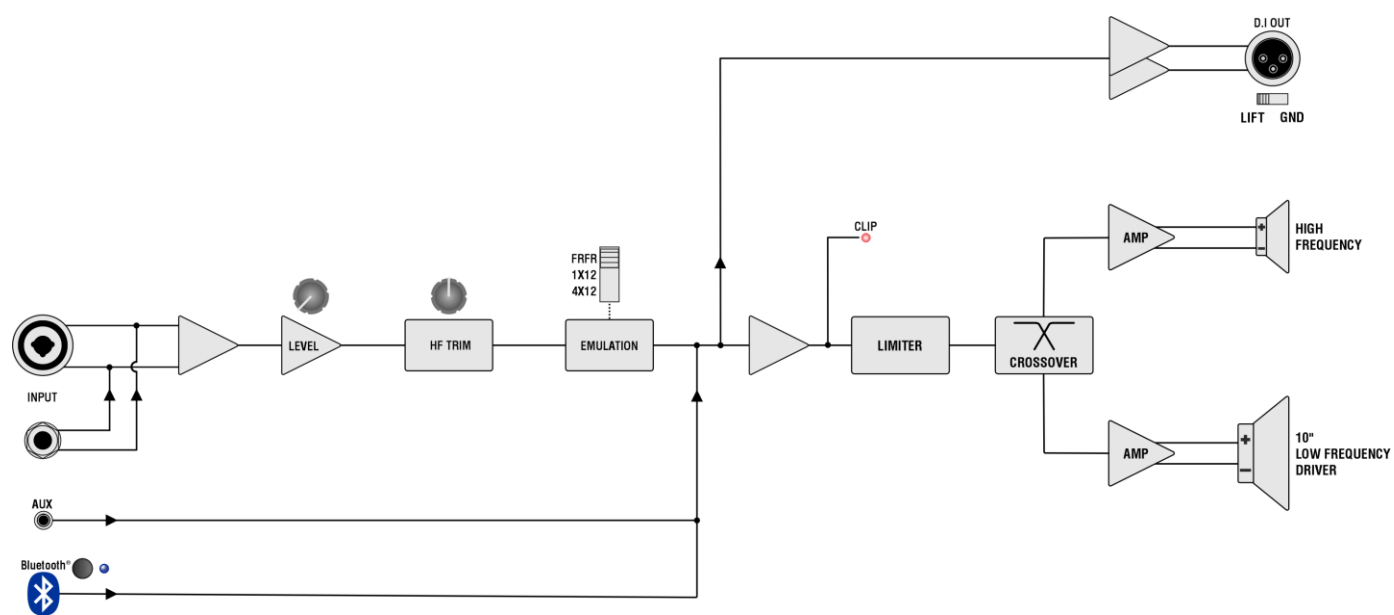


Model No	<i>LFR-110</i>
Type	<i>Full Frequency Range Flat Response Powered 1x10" Cabinet</i>
Frequency response (-10dB)	<i>55Hz >18kHz</i>
Max SPL (1M)	<i>118 dB SPL (Continuous), 121 dB SPL (Peak)</i>
Power Rating	<i>250W Continuous, 125W RMS</i>
Amplifier Type	<i>Class D, with fully passive convection cooling for silent operation</i>
Input	<i>Balanced Female XLR/Jack Combi, 3.5mm Stereo aux in, Bluetooth® Connectivity</i>
Output	<i>Balanced Male XLR DI Out</i>
Controls	<i>Volume, HF Trim, DI out Emulation Switch, Ground lift, Light switch.</i>
Bluetooth	<i>Bluetooth® 5.4 with True Wireless Stereo (TWS) functionality to two units, supporting A2DP streaming</i>
Illumination	<i>Front illuminated downlight strip</i>
HF Driver	<i>1" LaVoce DF10 Compression Driver and Horn</i>
LF Driver	<i>10" HH Blue 25038 Professional Woofer</i>
Crossover Frequency	<i>2.4kHz</i>
Enclosure	<i>Precision-engineered 15mm MDF cabinet for enhanced structural stability and acoustic performance</i>
Handles	<i>Top mounted grab steel bar handles for comfortable and easy transportation</i>
Finish	<i>Hard wearing black vinyl, Black Metal Corners</i>
Power Supply	<i>Internal SMPSU 100-240V~ Universal Voltage 50/60Hz. IEC C14 Inlet</i>
Power Consumption	<i>100 Watts Nominal</i>
Unit dimensions (HWD)	<i>490 x 383 x 300mm, (19.3" x 15.1" x 11.8")</i>
Unit weight	<i>9.4Kg, (20.7 lbs)</i>
Carton dimensions (HWD)	<i>560 x 485 x 400mm, (22" x 19.1" x 15.7") , 0.109 M3</i>
Packed Weight	<i>11.4Kg, (25.1 lbs)</i>
EAN Code	<i>5060109459586</i>

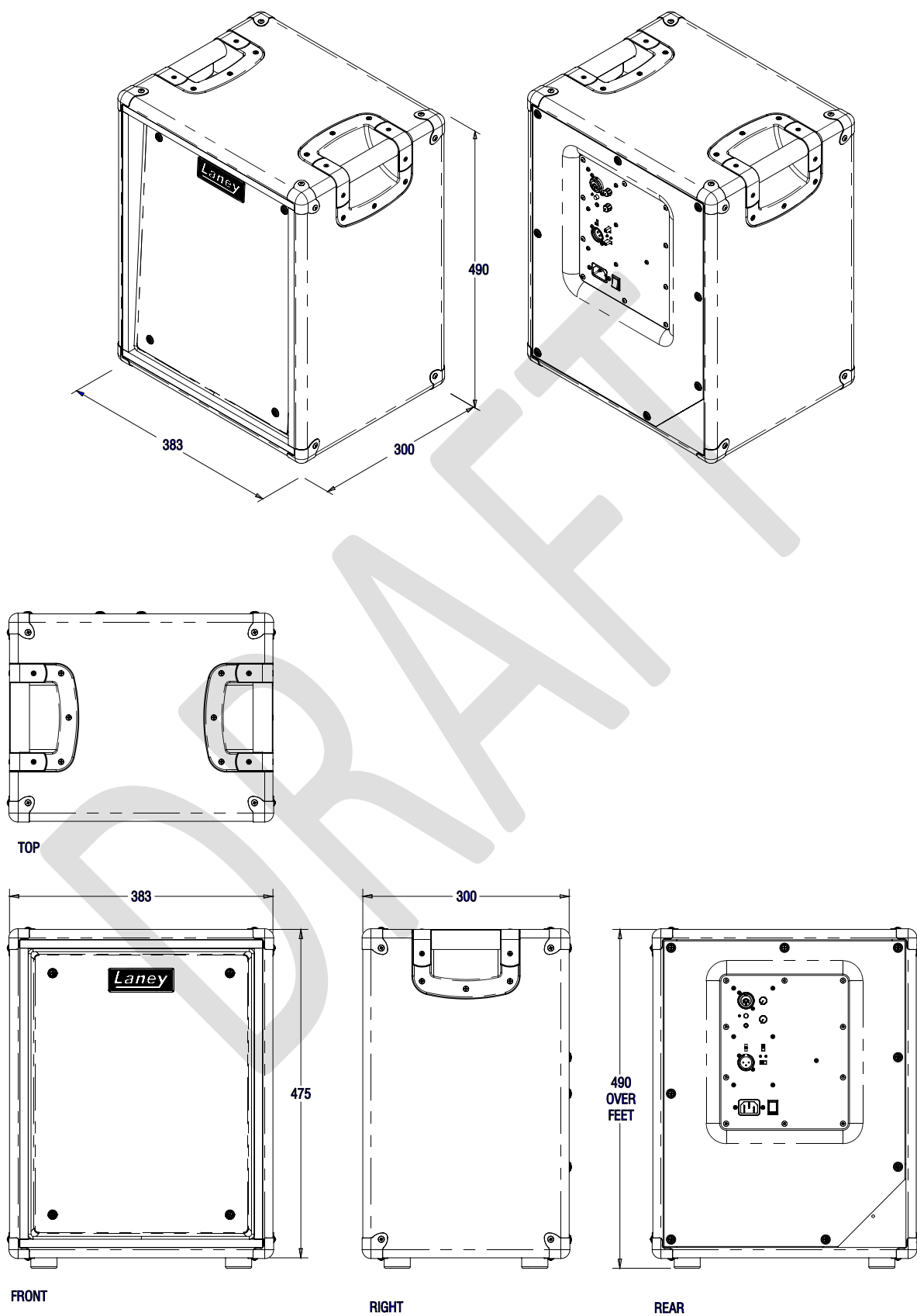
継続的な開発のため、Laney は事前の通知なしに製品仕様を修正する権利を留保します。

Bluetooth® は Bluetooth SIG の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。

ブロック図



寸法 (mm)



安全のための警告

MANUFACTURER: HEADSTOCK DISTRIBUTION LTD. STEELPARK ROAD,
COOMBS WOOD BUSINESS PARK WEST, HALESOWEN, B62 8HD, UK

本製品を十分に活用し、トラブルなく長くお使いいただく

ために、この取扱説明書をよくお読みください。読み終わった後も、使用される方が参照できるように必ず安全な場所に保管してください。

1) 開梱

製品を開梱する際には、輸送中に発生した損傷の有無を確認してください。万一損傷があった場合は、ユニットを元の箱に戻し、販売店にご相談ください。元の輸送用の箱を保管しておくことをお勧めします。万一、機器に不具合が発生した場合でも、修理発送のための梱包が容易になります。

2) アンプの接続

損傷を避けるために、システムの電源をオン/オフするための手順を決めることをお勧めします。すべての機器の接続が完了した状態で、ソース機器、ミキサー、エフェクト・プロセッサなどの電源を入れた後に、アンプの電源を入れます。手順を守らないと、電源のオン/オフ時に大きなノイズが発生し、スピーカーに損傷を与える可能性があります。レベルコントロールが最小に設定されていることを確認し、アンプの電源を最後にオンにしてください。すべてのシステム部品が安定するまで待ちます（通常は数秒）。同様に、システムの電源を切るときは、必ずアンプのレベル・コントロールを下げてから、最初に電源を切ってください。

3) ケーブル: アンプからスピーカーへの接続にシールドケーブルやマイクケーブルを使用しないでください。アンプの負荷を十分に処理できず、システム全体に損傷を与える可能性があります。それ以外の場所では、高品質のシールドケーブルを使用してください。

4) 修理: 製品の修理は販売代理店に依頼し、ユーザーで行わないでください。

5) 機器に表示されるすべての警告に注意してください。

6) 機器に表示されるすべての指示に従ってください。

7) 機器を水の近くで使用しないでください。

8) 乾いた布で拭いてください。

9) 換気口を塞がず、メーカーの指示に従った場所に設置してください。

10) ラジエーター、ストーブ、その他の熱を発生する装置（アンプを含む）など、熱源の近くに機器を設置しないでください。

11) クラス

機器の装置は、ブレーカーのある主電源コンセントに接続する必要があります。分極プラグ、接地タイプのプラグを改造しないでください。分極プラグには 2 つのブレードがあり、一方のブレードの幅が他方よりも広がっています。接地タイプのプラグには、2 つのブレードと 接地端子があります。幅広のブレードまたは接地端子は、安全のために用意されています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事会社に相談してください。

12) 電源コードを踏んだり、挟んだりしないように保護してください。特に、プラグ、コンセント、および装置から出ている部分に注意してください。

13) メーカーが提供する付属品のみを使用してください。

14) カート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルは、メーカーが指定したものか、装置と一緒に販売されたもののみを使用してください。カートを使用する場合は、転倒による負傷に注意してください。

15) ユーザーは、電源プラグ、電源スイッチに簡単にアクセス、操作できるようにする必要があります。雷が発生したとき、または長期間使用しない場合は、この製品の電源プラグを抜いてください。

16) すべてのサービスは販売代理店に依頼してください。電源コードまたはプラグが損傷した、液体をこぼした、装置に物を落とした、装置を落とした、装置が雨や湿気にさらされた、動作しないなどの場合は、修理が必要です。

17) アースピンは絶対に折らないでください。ユニットの電源コネクタに隣接して表示されている仕様の電源にのみ接続してください。

18) この製品を装置ラックに取り付ける場合は、背面サポートを使用する必要があります。

19) 機器を水にさらされないようにし、花瓶などの液体を含む物体を機器の上に置かないように注意してください。

20) 非常に高い騒音レベルにさらされると、難聴を引き起こす可能性があります。騒音による難聴のかかりやすさは個人によってかなり異なりますが、強い騒音に長い時間さらされると、ほぼすべての人がある程度の聴力を失います。米国政府の労働安全衛生局（OSH

A）は、許容騒音レベルを指定しています。暴露がこの制限を超えた場合、難聴を防ぐために、耳栓または聴覚保護具で保護することをお勧めします。

21) アンプのキャビネットに傾斜させる機構が備わっているため、注意して使用してください。アンプは容易に傾いてしまうため、水平で安定した面でのみ使用してください。アンプを机、テーブル、棚、またはその他の不安定な場所で操作しないでください。

22) 製品および製品マニュアルで使用されている安全に関するシンボルは次のとおりです。

Duration Per Day in Hours	Sound Level dBA, slow response
8	90
6	92
4	95
3	97
2	100
1 1/2	102
1	105
1/2	110
1/4 ou inférieur	115

 CAUTION:	感電するリスクがあります。エンクロージャ内の絶縁されていない「危険な電圧」の存在を警告しています。
 WARNING:	製品に付属の資料に重要な操作およびメンテナンス（サービス）の指示があることを警告しています。
	本製品はアメリカ合衆国のFCC規則第15部に準拠しており、Class B digital deviceに認定されています。 本製品を使用すると高周波を発信する場合があります、設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。 ● 受信アンテナの方向や位置を変える ● 装置と受信機の距離を離す ● 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する ● 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する
	この製品は、次の欧州規制、指令および規則の要件に準拠しています：CE マーク（93/68/EEC）、低電圧（2014/35/EU）、EMC（2014/30/EU）、RoHS（2011/65）/EU）、ErP（2009/125/EU） 簡素化された EU 適合宣言書 EU 適合宣言の全文は、次のインターネット アドレスで入手できます。 http://support.laney.co.uk/approvals
	上記の宣言の目的は、2016 年の電気機器（安全）規則、2016 年の電磁適合性規則、2012 年の電気および電子機器規則における特定の有害物質の使用制限、エネルギーのためのエコデザインの関連する法的要件、関連製品およびエネルギー情報（修正、適用 2012年）に準拠しています。
	環境への影響を軽減するために、通常の家廃棄物と一緒に廃棄できません。国や自治体で適用される法律・条例に従って、承認されたりサイクル センターに持ち込む必要があります。



STEELPARK ROAD, COOMBSWOOD BUSINESS PARK WEST, HALESOWEN, B62 8HD. UK
FOR THE LATEST INFORMATION PLEASE VISIT WWW.LANEY.CO.UK

継続的な開発のため、LANEY は事前の通知なしに製品仕様を修正する権利を留保します。

バージョン1.0

